

令和6年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和5年11月10日

上場会社名 株式会社 日本一ソフトウェア
コード番号 3851 URL <https://www.nippon1.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 世古哲久
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 猿橋健蔵
四半期報告書提出予定日 令和5年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 058-371-7275

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第2四半期の連結業績(令和5年4月1日～令和5年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第2四半期	3,059	29.3	191	55.9	459	27.6	290	31.9
5年3月期第2四半期	2,367	34.3	434	66.3	635	50.9	426	51.1

(注) 包括利益 6年3月期第2四半期 742百万円 (19.2%) 5年3月期第2四半期 918百万円 (1.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第2四半期	57.61	57.51
5年3月期第2四半期	84.73	84.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第2四半期	10,655	7,663	70.7
5年3月期	9,379	6,948	72.7

(参考) 自己資本 6年3月期第2四半期 7,533百万円 5年3月期 6,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期				5.00	5.00
6年3月期					
6年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

令和6年3月期の業績予想につきましては、令和5年3月期決算短信(令和5年5月12日付公表)において発表いたしましたとおり未定といたしました。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適応)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期2Q	5,131,400 株	5年3月期	5,131,400 株
期末自己株式数	6年3月期2Q	90,856 株	5年3月期	90,856 株
期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期2Q	5,040,544 株	5年3月期2Q	5,034,654 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料公表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や政策効果により、緩やかに回復しており、個人消費の増加が期待されます。しかし、中国経済の先行き懸念など海外景気的不安定さや金融資本市場の変動などがリスクとなり、物価上昇等引き続き先行き不透明な状況が続くと予想されます。

当社グループが所属するゲーム業界では、巣ごもり需要が一巡したことでゲームソフトの売上低下が不安視されていましたが、デジタル化の進展により販売地域が広がったことや旧作販売の伸長などの影響で、ゲームソフト販売を含むセグメントの売上は底堅く推移しております。その他にも、クラウドゲームサービスの登場によるプラットフォームの多様化、成長市場として近年注目されているeスポーツの発展など、市場環境には更なる変化が見られます。

当社グループは、このような経営環境の中、当社グループの商品やサービスを通じてゲームという分野に限らず年齢・性別・地域を超えたすべての人々に楽しさを提供し、その結果として当社グループと当社グループに関わるすべての人々が豊かになることを目指して成長してまいります。そのために、当社グループは永続的な発展を目指し、「開発力の強化」「販売力の強化」「生産性の向上」に取り組むことに加えて、中期的な経営計画として国内販売20万本を超えるIP(知的財産)を作り出すことを目指してまいります。

このような状況の中、エンターテインメント事業におきましては、国内では4タイトルのゲームソフトを発売いたしました。また、インターネット環境でゲームソフトを購入できるPlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売等を行いました。

学生寮・その他事業におきましては、岐阜県内の大学学生寮の運営等を行ってまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高3,059,778千円(前年同期比29.3%増)、営業利益191,552千円(同55.9%減)、経常利益459,970千円(同27.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益290,381千円(同31.9%減)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

(エンターテインメント事業)

パッケージタイトルとしましては、国内では『シカトリス』、『流行り神1・2・3パック』、『英雄伝説 零の軌跡：改』、『英雄伝説 碧の軌跡：改』の合計4タイトルを発売いたしました。また、第3四半期以降に発売を予定しております『役づくりパズル ゆめいろユラム』等の開発を進めてまいりました。

その他につきましては、PlayStation Network、ニンテンドーeショップ、Steam等を通じたゲームソフト及びダウンロードコンテンツの販売や北米・欧州・アジア地域に向けた国内で発売されたタイトルのローカライズ及び販売を行いました。加えて、新規タイトルの開発及び関連商品のライセンスアウト、カードゲームショップ「プリニークラブ」の運営も引き続き行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高3,020,906千円(同29.5%増)、営業利益438,466千円(同35.1%減)となりました。

(学生寮・その他事業)

学生寮・その他事業におきましては、学生支援を目的として岐阜県内の大学学生寮3件の運営等を行ってまいりました。

その結果、当事業全体におきましては、売上高38,871千円(同12.6%増)、営業損失17,526千円(前年同期営業損失20,652千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は10,655,025千円となり、前連結会計年度末に比べ1,275,397千円の増加となりました。

主な流動資産の増減は、現金及び預金の増加(前連結会計年度末に比べ797,393千円の増加)、売掛金の増加(同359,949千円の増加)、商品及び製品の増加(同115,546千円の増加)、仕掛品の減少(同110,319千円の減少)によるものであります。

主な固定資産の増減は、建物及び構築物の増加(同186,221千円の増加)、建設仮勘定の減少(同67,740千円の減少)によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は2,991,064千円となり、前連結会計年度末に比べ560,008千円の増加となりました。

主な流動負債の増減は、買掛金の増加(同79,480千円の増加)、契約負債の増加(同159,944千円の増加)、返金負債の増加(同68,289千円の増加)によるものであります。

主な固定負債の増減は、長期借入金の増加(同238,541千円の増加)によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は7,663,960千円となり、前連結会計年度末に比べ715,388千円の増加となりました。

主な純資産の増減は、利益剰余金の増加(同265,178千円の増加)、為替換算調整勘定の増加(同476,562千円の増加)によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は5,151,004千円となり、前連結会計年度末に比べ797,393千円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は382,159千円(前年同期は48,041千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益461,581千円、減価償却費43,622千円、為替差益124,258千円、売上債権の増加額314,511千円、前払費用の減少額101,844千円、契約負債の増加額159,944千円、利息及び配当金の受取額69,568千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は105,329千円(前年同期は806,913千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出187,735千円、無形固定資産の取得による支出31,382千円、投資有価証券の償還による収入111,749千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は130,755千円(前年同期は23,973千円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純減少額88,210千円、長期借入れによる収入267,832千円、長期借入金の返済による支出18,913千円、配当金の支払額25,283千円によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年3月期の連結業績予想につきましては、令和5年3月期決算短信(令和5年5月12日付公表)「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」に記載した新体制構築のための資金・資源の投入等、いまだ不確定な要素を含んでおり、未定としております。

なお、令和6年3月期の業績見通しが算出できる状況になりましたら、適時に開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,353,611	5,151,004
売掛金	279,780	639,730
商品及び製品	183,763	299,310
仕掛品	509,796	399,476
前払費用	929,123	932,617
その他	277,401	209,783
貸倒引当金	△17,905	△19,484
流動資産合計	6,515,571	7,612,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	826,635	1,012,857
機械装置及び運搬具（純額）	9,591	7,500
土地	678,340	684,694
建設仮勘定	67,740	—
その他（純額）	74,387	89,827
有形固定資産合計	1,656,694	1,794,879
無形固定資産	25,290	55,297
投資その他の資産		
投資有価証券	1,127,670	1,104,278
その他	54,400	88,131
投資その他の資産合計	1,182,071	1,192,410
固定資産合計	2,864,056	3,042,587
資産合計	9,379,628	10,655,025

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和5年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	258,850	338,330
短期借入金	372,210	284,000
1年内返済予定の長期借入金	29,780	40,157
未払金	131,813	111,145
未払法人税等	14,456	121,839
賞与引当金	116,869	86,644
契約負債	39,239	199,183
返金負債	406,130	474,420
その他	160,795	177,261
流動負債合計	1,530,145	1,832,982
固定負債		
長期借入金	658,586	897,128
退職給付に係る負債	62,646	64,355
繰延税金負債	140,762	158,306
その他	38,914	38,292
固定負債合計	900,909	1,158,082
負債合計	2,431,055	2,991,064
純資産の部		
株主資本		
資本金	557,444	557,444
資本剰余金	547,444	547,444
利益剰余金	5,176,467	5,441,646
自己株式	△56,349	△56,349
株主資本合計	6,225,006	6,490,185
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△89,605	△114,346
為替換算調整勘定	681,084	1,157,646
その他の包括利益累計額合計	591,479	1,043,299
新株予約権	132,086	130,475
純資産合計	6,948,572	7,663,960
負債純資産合計	9,379,628	10,655,025

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月 1日 至 令和5年9月30日)
売上高	2,367,219	3,059,778
売上原価	978,128	1,743,602
売上総利益	1,389,090	1,316,175
販売費及び一般管理費	954,565	1,124,623
営業利益	434,525	191,552
営業外収益		
受取利息	33,489	59,427
受取配当金	137	132
為替差益	169,013	210,243
その他	2,191	5,197
営業外収益合計	204,832	275,000
営業外費用		
支払利息	3,161	3,472
投資事業組合運用損	32	2,930
その他	746	179
営業外費用合計	3,940	6,582
経常利益	635,417	459,970
特別利益		
新株予約権戻入益	15,250	1,611
特別利益合計	15,250	1,611
税金等調整前四半期純利益	650,667	461,581
法人税等	224,066	171,200
四半期純利益	426,601	290,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	426,601	290,381

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月 1日 至 令和5年9月30日)
四半期純利益	426,601	290,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△85,345	△24,741
為替換算調整勘定	577,577	476,562
その他の包括利益合計	492,231	451,820
四半期包括利益	918,832	742,202
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	918,832	742,202
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 令和4年4月 1日 至 令和4年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和5年4月 1日 至 令和5年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	650,667	461,581
減価償却費	38,155	43,622
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,161	△541
賞与引当金の増減額(△は減少)	△101,491	△37,763
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	2,879	1,708
受取利息及び受取配当金	△33,627	△59,559
支払利息	3,161	3,472
為替差損益(△は益)	△107,844	△124,258
投資事業組合運用損益(△は益)	32	2,930
売上債権の増減額(△は増加)	46,049	△314,511
棚卸資産の増減額(△は増加)	△121,234	37,957
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,294	40,204
前渡金の増減額(△は増加)	11,479	△9,956
前払費用の増減額(△は増加)	△187,543	101,844
前受金の増減額(△は減少)	△6,526	△13,477
契約負債の増減額(△は減少)	△60,423	159,944
返金負債の増減額(△は減少)	41,052	18,396
その他	△60,301	10,711
小計	106,030	322,307
利息及び配当金の受取額	34,733	69,568
利息の支払額	△3,161	△3,472
法人税等の支払額	△185,645	△6,244
営業活動によるキャッシュ・フロー	△48,041	382,159
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△142,928	△187,735
無形固定資産の取得による支出	△9,604	△31,382
投資有価証券の取得による支出	△654,373	—
投資有価証券の償還による収入	—	111,749
その他	△7	2,039
投資活動によるキャッシュ・フロー	△806,913	△105,329
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	6,820	△88,210
長期借入れによる収入	—	267,832
長期借入金の返済による支出	△9,702	△18,913
リース債務の返済による支出	—	△4,669
株式の発行による収入	4,060	—
自己株式の取得による支出	△60	—
配当金の支払額	△25,089	△25,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,973	130,755
現金及び現金同等物に係る換算差額	539,104	389,807
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△339,823	797,393
現金及び現金同等物の期首残高	4,768,581	4,353,611
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,428,758	5,151,004

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

海外連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自令和4年4月1日 至令和4年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,332,684	34,534	2,367,219	—	2,367,219
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,332,684	34,534	2,367,219	—	2,367,219
セグメント利益又は損失 (△)	675,242	△20,652	654,590	△220,064	434,525

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,064千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自令和5年4月1日 至令和5年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	エンターテイン メント事業	学生寮・その他 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,020,906	38,871	3,059,778	—	3,059,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,020,906	38,871	3,059,778	—	3,059,778
セグメント利益又は損失 (△)	438,466	△17,526	420,940	△229,387	191,552

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△229,387千円は、全て全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。